

2月18日平和と紛争予防/紛争解決月間

自衛隊山口地方協力 本部 本部長1等空佐 宮木浩氏ほか1名

2月23日はロータリー創立記念日になります。111年前1905年(明治38年)

2月23日「木曜日」シカゴで最初の会合が開かれました。シカゴで弁護士を開業した38歳の青年ポール・ハリスがロータリークラブを作ることを思いついたのは罪悪と腐敗の街に住みながらその街の中に彼が少年時代を過ごした「ニューイングランド」の村で感じた安らぎを取り戻そうとするささやかな実験でもあったのです。「ポール・ハリス」弁護士「ガスターバス・ローア」鉱山技師「シルベスター・シール」石炭商「ハイラム・ショーレー」洋服の仕立てこの4人がロータリークラブ設立のための、初の会合が開かれたのです。場所はシカゴ中心街のユニティ・ビルにある「ガスターバス・ローア」の事務所(711号室)に集まりました。この日の会合では、「一人一業種で、親睦を深める会を作る」という設立の主旨が熱っぽく語り合われたそうです。

「一人一業種制」と「定例の会合」を原則にした、職業人の親睦団体としてロータリークラブは発足しました。クラブには実業人だけではなく法律家、医師、宗教家とあらゆる職業の人を集めることになりました。翌月3月9日開かれた2回目の会合では再びクラブの主旨と可能性が討議されました。「ハリー・ラグルス」印刷会社はこの時の例会から参加しました。3年後の1908年におきた最初の分裂の危機「親睦・互惠派」か「奉仕・拡大派」でもめた時「歌を歌う」ことで危機を救った話は有名です。その後、事業の経営者、共同経営者または会社役員でなければ会員になれないことが決められました。更に今後の会合の持ち方についても議論が交わされました。3回目の会合は3月23日「シルベスター・シール」の事務所で開催されポール・ハリスの指名によって初代会長に「シルベスター・シール」が就任しました。この日の会合で新クラブの名称が検討されローテーションを取り決めて会合を開いていることから「ロータリークラブ」と名付けられました。ポール・ハリスは1907年2月シカゴ・クラブ・3代目会長に就任しました。この時、最初の社会奉仕としてシカゴに公衆トイレが設置されました。1910年(明治43年)8月にシカゴで第1回の全米連合大会が開催され初代連合会長にポール・ハリス就任しました。全米連合会・事務総長に「チェスリー・ペリー」が就任(32年間在職)初期のロータリーにおいて、その連合体の形成に大いに貢献し「ロータリーの建設者」と称されました。その頃の日本は(明治38年)日露戦争が終わりポーツマス条約を締結、日本政府はルーズヴェルト米大統領に講和の斡旋を要望しました。この条約で日本の朝鮮支配の条件は整えられ満州進出の足場を固めロシアから樺太の南半分「北方領土」を譲り受けた。その頃宇部は戦争の影響で宇部の石炭産業は急速に発展、沖の山炭鉱・神原炭鉱・西沖の山炭鉱・東見初炭鉱など海底炭鉱が造られた。中国地方や九州からも多くの労働者が仕事を求めて宇部村に移住してきました、そして1920年(大正9年)10月20日東京ロータリー創立・96年前。1956年(昭和31年)7月10日宇部クラブ創立(スポンサー山口)

今年の7月10日宇部クラブ創立60周年を皆さんとお祝しましょう。